

岐阜県の養豚農家で 豚コレラ(国内25例目)の疑似患畜 が確認されました

<発生施設の概要>

所在地:岐阜県山県市 飼育頭数:8,122頭

<経緯>

岐阜県は、6月4日(火)に農場から「飼育豚が異常を呈している」との報告を受け、立入検査及び精密検査を実施したところ、本日(6月5日(水))に豚コレラの疑似患畜であることを確認しました。

豚コレラ

2018年9月から続発!!

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典:岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

飼養豚の毎日の健康観察による

異常の**早期発見・早期通報**の再徹底を
お願いします。

異常を見つけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話:055-262-3166 FAX:055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先:090-5535-8005

土日・休日の連絡先:090-5544-7868

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする
際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

生産者、畜産関係者の皆様には、
以下の**対策の徹底**を改めてお願いします。

<人・物・車両によるウイルスの持込み防止>

- ◆ 飼養衛生管理区域、豚舎への**出入りの際の洗浄・消毒**
- ◆ 衛生管理区域**専用の衣服、靴の設置と使用**
- ※ 特に立入る頻度が高く、ウイルスが侵入するリスクの高い**分娩舎等**で**清掃・消毒・手洗い**等を徹底するとともに、**専用長靴を使用**
- ◆ 飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ**摂氏70度・30分間以上**又は**摂氏80度・3分間以上の加熱処理**

<野生動物対策>

- ◆ 飼料保管場所等への**ねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止**
- ※ ウイルスを伝播する可能性のある**ネズミ等の野生動物対策に万全を期すため**、日頃から**殺鼠剤の散布**や、**消毒効果も含め、農場周囲への消石灰の散布**を念入りに行う
- ◆ 豚舎周囲の**清掃、整理・整頓**
- ◆ 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管